

# メキシコに進出

## 昭芝製作所 プレス部品生産

昭芝製作所(東京都練馬区、三原寛人社長、03・3995・3176)は、エアバッグやシートベルトなどのプレス部品生産でメキシコに進出する。中西部のアスカリエネスに工場を設け、12月に量産を始める。日系の自動車部品1次サプライヤーを中心に供給する。投資額は数億円。5年後までに現地で売上高10億円を目指す。

昭芝製作所の海外工場となる。生産子会社を資本30人雇用する。日本からは国、フリエンに次ぎ、金1億円で設立。工場を、らも3〜5人を派遣して3カ国、4拠点目と、借り、まず現地従業員約1立ち上げに備える。ほか

の拠点ある既存設備を移管させるなどで費用を抑える。

メキシコでは白濁自動車、ホンダ、マツダといった日系のほか、独フォルクスワーゲングループのアウディなど車メーカーの投資が活発化。各社

は現地に新工場を計画しており、1次サプライヤーの設備増強や生産進出も相次いでいる。こうした動きに合わせ、供給体制を整える。車業界は東南アジアでの投資も盛んだが、メキシコ工場は米国市場が視野に入ると、メキシコに拠点設けることを決めた。

昭芝製作所は車のプレス部品メーカーで、1946年の創業。国内は茨城県、福岡県に工場がある。2012年12月期の売上高約40億円だった

## ラッチ 米でトラック部品増産

### フードから新規受注

【前掲】小倉ラッチになる。は10月に米国トラック用部品を生産するデフログ関連部産産数を現行約4倍に引き上げる。米フォードの受注を獲得、採用車種が増えるため。生産へへの採用が決まった。年米を扱う米国、中国工場、同社トラック「D1500」の受注は3年前に比べて増産体制を整えて、年産15万台で供給を始め、年間生産台数は、た上級車種「D1255」の15万台から55万台に加った。

小倉ラッチはカーエアコン用ラッチ大手。売上高に占めるデフログ関連の比率はわずかなが、複数の国内外の自動車メーカーから引き合

があるという。新規分野の採用拡大をアゴに、16年3月期売上高は13年3月期比2割増の410億円以上を視野に入



「ワンサーカーゴリッター17・4km」  
三菱自が一部改良  
三菱自動車は3日、商用車「ワンサーカーゴ」を一部改良して発売し、発表した。2輪駆動の変速機を4速自動変速機から無段階変速機に変更し、燃費を従来比約16%増のガリ1リッターあたり17・4kmに改

インド新車 台数14・4%  
スズキのトップのマルチ・スズキの新車販売台数

0に次ぐ車種目。中国子会社の小倉隆合機(広東省東莞市)で鍛造や巻線加工を施し、米国内で組み立てる。同社の米国法人は2012年度、フードが優れた取引先を表彰する制度で最優秀賞を受賞。品質や価格、納期面が高い評価を得て採用車種の増加につながった。

G7ホルテルデブスは6月中にバイク用品と関連サービスのお店「バイクセア」の海外1号店をマレーシアのジョホールバル市に開設する。現地で4輪車と同様に2輪車の車種制がなく、修理サービスの需要が見込めるため、出店を決めた。

G-7、修理需要開拓  
同国5店舗目となるカー用品店「バイクセア」の海外1号店をマレーシアのジョホールバル市に開設する。現地で4輪車と同様に2輪車の車種制がなく、修理サービスの需要が見込めるため、出店を決めた。

「インサイト」内外装一部改良  
ホンダはハイブリッド車「V」の内外装改良して発売し、オプション付属アクセサリーを全タイプに装着したほか、UACCをカーナビに装着するほか、装飾充実を図ったダの補正カーナビ

数	合計
106,134	(77.1)
3,395	(6.9)
40,529	(18.6)
45,444	(21.5)
6,977	(29.0)
17,726	(3.7)
52,725	(14.0)
51,436	(17.3)
13,032	(27.7)
2,610	(14.7)
3,671	(11.9)
2,614	(11.4)
680	(13.7)
20,695	(17.7)
367,648	(16.9)
前年同月	

5月、新車販売6.9%減